

すっご〜い!
感動じゃ〜ん!!

YEAHHH



わくわくするなあ

わあ、鳥が
たくさんいるよ〜!



OH HHHH

平成17年度海洋教育事業

500人で行く
友情クルーズ!!

DOOOOON

BUKU BUKU

BUKU BUKU

海の中は
神秘的だなあ



海ガメって
カワイイ〜!!



PEE

B&G
体験クルーズ

小笠原

27年の実績。延べ43,000人が参加!
参加者募集中!

※国内少年の船、海外少年の船を含む

がんばって〜!!



NABAAA



友達いっぱい
できた〜!



YEAHHH

平成18年3月26日<日>〜3月31日<金>5泊6日

【後援】内閣府・文部科学省・国土交通省・東京都・日本財団

【寄港地】小笠原諸島父島(二見港)

【使用客船】ふじ丸(23.235総トン)

【対象・募集人員】小学校4年生から中学校3年生の男女/500名

※学年は平成18年3月現在を適用いたします。

【参加費】180,000円(晴海埠頭集合・解散の場合)

※地方主要空港・主要駅での集合・解散の場合は金額が異なります。詳しくは「実施・募集要項」をご確認ください。参加ご希望の方は、最寄りのB&G海洋センターへお問い合わせいただくか、B&G財団ホームページ(<http://www.bgf.or.jp/>)をご覧ください。

※本事業は、脱炭素社会による日本財団助成事業として実施しており参加費を軽減しております。

【主催】ブルーシー・アンド・グリーンランド財団(略称:B&G財団)

〒105-8480 東京都港区虎ノ門1-15-16

TEL:03-5521-6743 FAX:03-5521-6745 Eメール:kaiyo@bgf.or.jp

【旅行取り扱い】株式会社 ジェイティービー 団体旅行 日本橋支店

〒103-0027 東京都中央区日本橋1-13-1 日鉄日本橋ビル2階

TEL:03-3273-8254 FAX:03-3273-8203

国土交通大臣登録旅行業第64号

※本クルーズに係る旅行条件書は別途お渡しいたします。

申し込め先

平成17年度海洋教育事業

B&G

体験グループ

小笠原

B&G「体験クルーズ」とは・・・

B & G「体験クルーズ」は、全国各地から500人の参加者を募る、大規模な青少年の育成事業です。昭和51年(1976年)に、沖縄まで航海した「国内体験航海」がはじまりです。私たちは、このクルーズを通して、青い海や大きな波、その海を越えて渡る船、雄大で希少な自然について実体験していただき、様々な事象に興味を持ってもらいたいと考えています。また、船上での団体生活を通じて、異世代間のコミュニケーションについて学び、思いやりと友情を育み、豊かな人間形成の一助になればとも考えております。B & G「体験クルーズ」には下記のような特徴があります。

スキルアップ

参加者が、ボランティアリーダーとなり後進の指導にあたっています。海洋性レクリエーションについての理解を深め、B & Gジュニアリーダー資格を取得することができます。(13才以上)

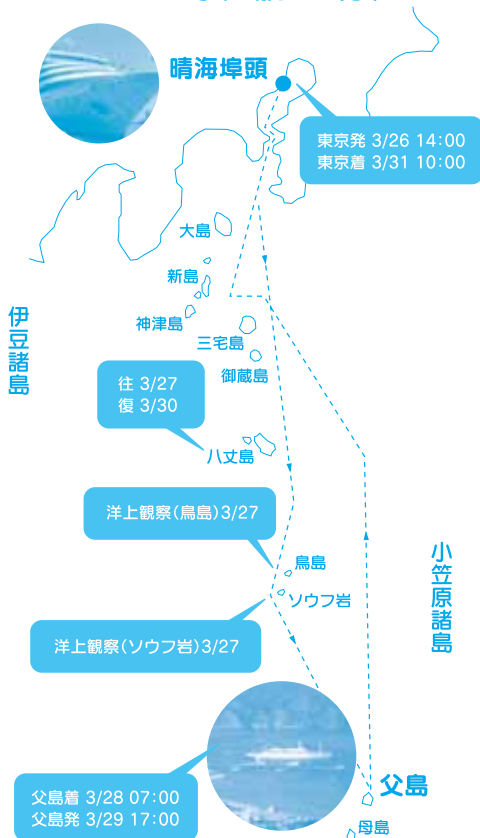
德育教育

学校教育よりも濃密な、異年齢によるグループでの活動(団体生活)を通して人間関係を学び、コミュニケーション能力を育みます。“礼節”や“規律”(徳育)に重点を置き、社会性や豊かな人間性を養います。

波及効果

財団が実施している他の海洋教育事業との関連性があり、新たな体験教材との出会いに期待できます。全国各地から参加者が集まりますので、友情の輪が全国に広がります。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆预定航路·行程◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆



<B&G「体験クルーズ」は日本財団の助成事業です>
B & G「体験クルーズ」は、公益事業として実施しておりますので、参加者にかかる純経費の約50%を競艇による収益金から補助しています。

体験クルーズQ&A

お問い合わせを頂く内容で多いご質問を
Q&A形式でまとめました。

Q:B&G「体験クルーズ」ではどのようなことをするのですか？

A: 船内では、特別天然記念物で国際保護鳥でもある「アホウドリ」とその生息地である「鳥島」や、海や船についての講義、使用する客船「ふじ丸」の見学などの各種の研修を実施しています。小笠原(父島)では、ホエールウォッチングをはじめ、トレッキングやスノーケリングなどの自然体験を実施しています。詳しくは、B & G財団のホームページ(<http://www.bgf.or.jp/>)をご覧ください。

Q:アレルギーがあるのですが、食事はどのようなものが出るのですか？

A:食事は、すべて「ふじ丸」で調理したものを食べます。内容は、和洋食で日によっては、デッキランチやデッキディナーも行ないます。各料理には食材も明記していますので、卵などのアレルギーがある場合は、特定のアレルギー食材を食べないようにすることができます。



Q: 部屋は何人部屋でどのような部屋ですか？

A: 部屋はタイプによって異なりますが、概ね3名～4名で男女別の部屋になります。部屋には船内生活を快適に過ごせるように、洗面所、トイレ、シャワールームが完備されています。部屋割りは、広い地域に友達ができるようになるべく地域がばらばらになるようにしています。



Q: 船酔いや病気、けがなどが心配です。

A・船酔いは、疲れや睡眠不足など体調的な問題により起こる場合や、初めての航海による緊張など精神的な問題により起こる場合などもあります。参加者には、食事をきちんととり、十分睡眠をとるように促し予防しておりますが、乗り物酔いをしやすい人も中にはいると思います。そのような場合でも、「ふじ丸」には船医が常駐しており、専用の薬もあります。また、けがや病気に対してすぐに対応できるよう、看護士やライフセーバーなど、特殊技能を持っているスタッフも乗船しています。

感想

3月26日、期待と不安を胸に私たちは晴海へ向かった。知らない人がたくさんいてすごく不安になりました。日がたつにつれて友達がたくさんでき、何でも言いえる関係になりました。船での生活は、すごく厳しく、朝も早くてイヤだなあって思ったけど、今それを思い出すとどれくらい思い出です。このクルーズに参加していろいろと勉強になったし、いろんな人と仲良くなれたし、すごくいい思い出です。今回のクルーズは私の一番の思い出です。

Mさん(北海道・中3)



元気に日焼けした顔で帰って来た時、「楽しかった、食事が豪華で美味しかった」を連発する息子は、また行きたいと言っておりますが「どう何回も行けないよ」と言いますと、かなりがっかりしていました。あまりにも悲しそうなので「大きくなくてボランティアとしてだったら参加できるかもしれないよ?」と伝えましたら「わかった」と顔がパーっと明るくなりました。それくらい今回の体験は面白く貴重なものだったのでしょう。息子が将来自分の夢をかなえるのを親として見守ってきたいと思います。

参加者の保護者Oさん(岩手県)

参加者の保護者Oさん(岩手県)